



呼応

第15号

発行
上田染谷丘高校
東京同窓会事務局
〒241-0034
横浜市旭区今宿南町140
Tel&Fax: 045-952-1020

皆様御存知のように母校は二〇〇一年に創立百周年を迎えます。そこで「母校百周年に向けて企画された記念事業の進捗状況を、本部同窓会正・副会長の御三方に、夫々、担当の立場から」報告いただくことをメインに呼応15号をまとめました。しばしのとき、母校に想いを馳せてくださいませ。

記念事業 推進状況について

実行委員長
高5回 中沢優子(白井)

東京同窓会の皆さま、お健やかに新年度をお迎えになられたことと存じます。日頃いろいろな面でご協力いただいておりますこと心より感謝申し上げます。尚東京同窓会として沢山な募金を頂戴しましたこと厚く御礼申し上げます。さて募金のこと、会館建設のことにつきましては、お二人にお願いしましてその他の記念事業の推進状況について書きます。まず学校創立百周年記念式典は、平成十三年十月二十日(土)に決定しました。

しかし内容につきましては、記念講演会にするか記念演奏会にするか、はたまた、生徒の創作舞踊やオペラはどうかと様々な案が出ていますので考慮中です。また祝賀会の方法や招待客の範囲など考えていかななくてはなりません。記念誌につきましては、開校以来百年の歴史を時代的な背景を折り込んで、資料を集め、調査研究し、今までの「五十年小史」や、「七十年年」、「八十年年」の記念誌を参考に集大成したものです。

出版社も決まり、製本の仕様なども大体決まりました。あとコスト面や発行部数などについて検討中です。教育環境整備の面でも、いこいの場としての中庭、図書館のスチール製の書棚など資

金の許すかぎり、在校生や将来の人材育成のため整えていきたいと計画です。しかし学年末になりますと、PTAの役員の交代や、学校職員の転退職による交替などで多少の混乱もあるかと存じますが、仕上げるの一年、実行委員会のスムーズなすべり出しを願っております。

経済的には不況の社会背景の中、皆々さまの並々ならぬご協力を賜りあと二歩というところまでこぎつけました。ほんとうに有難うございました。この上はよりよい学校創立百周年を迎えられますよう更なるご助言、ご協力を心よりお願い申し上げます。

募金の現状とお礼

募金委員長

高12回 川上貞子(田畑)

東京同窓会の皆さま、お元気で活躍のことと拝察いたします。

二〇〇〇年の幕開け、ミレニアムなる外来語がとびかっています。一年後にせまった母校創立百周年に向けて役員一同、気分も一新して真向かっています。

二回にわたった募金依頼の郵送及び同窓生役員の皆さまによる各支部毎の地道な足歩き作業(お金のことですから、ずい分嫌な思いもなされたようですが)によって、日頃母校の百周年事業に関心の薄かった方々にも、奮起して熱き思いを募金に託していただき

ました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。おかげさまで、「一億円」の目標額が目前に見えてまいりました。経済情勢の不透明な厳しい折ではございますが、皆さまの心のよりどころであり、母校の後輩の幅広い部活動の場でもある同窓会館の建設をはじめとする諸事業が遂行できる見とおしとなりました。

東京同窓会からも「東京同窓会」として五〇万円の高額寄付を頂戴いたしました。糟谷さん油井さんのお

二人が遠路はるばる皆さまのお心として、新幹線で運んできて下さいました。ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。募金の現状は左記のとおりですが、募金委員会としましては、今年度は県内企業や事業所にも趣旨をご理解していただきご協力を願っています。そして、町村会でも上田市でもお願いしましたところ、ご協力していただけることになりました。

募金の現状 平成十二年二月十日現在
募金目標額 一億円
現在高 約九〇〇〇万円

平成11年度決算報告書

収入の部

項目	11年度決算額	備考
前年度繰越金	1,069,217	
年会費	398,270	372名分
総寄付	178,000	9000円×17名
補助金	45,000	5000円×5人
受取利息	5,000	総会祝儀
	1,083	母校より支部費
合計	1,696,570	

支出の部

項目	11年度決算額	備考
総渉通印事務	352,193	
会費	4,000	同窓連年会費
外信印刷用品	80,920	切手代
会議通付	15,750	『呼応』14号
寄付	14,375	封筒印刷代 他
小計	43,464	会場費他
	57,840	役員会交通費
	500,000	母校100周年記念事業費へ
次年度繰越金	1,068,542	
合計	628,028	現金 263,582円 通帳 364,446円
	1,696,570	

(2) 2000年4月10日

教育振興会館 進行状況について

建設委員長 高13回 宮島嘉子(小柳)

東京同窓会々員の皆様を始め、全国の同窓生の方々、そして染谷丘高校にかかわるあらゆる方々の御力で、募金も目標額近くになり、私達建設委員もいっそう心をひきしめて活動しております。

昨年十一月には、新会館の設計を河田一級建築士事務所に決定し、先ごろ正式に、設計工事監理業務委託契約がなされ、一歩前進しました。二月中には、河田設計士さんが、今まで、委員会で話し合ってきた会館への希望を入れて設計をして下さり、それを中心に委員会で検討し、最終的な設計の段階に入ります。これは基本設計というのだそうです。会館については、現段階ではほんの基本的なことしかお伝え出来ませんが次のようです。

会館は二階建て、一階は約七十坪、二階は三十坪、総坪約百坪です。一階はエントランスホールを中心に、事務室・応接室が並び反対側に大会議室で、百二十名の人が会議が出来る広さを考えております。天井は高くしコンサート等にも使えたらと思っております。トイレは車椅子用も

あります。二階は、和室と小会議室を造り、二つの部屋の間は可動間仕切にして、二つの部屋を一つにして使用できるようにと考えています。

建設委員の一人が、「学校の中にはない、部屋や設備を考えたいですね。」と話されましたが、本当に同窓生の方々が在校生、PTA職員の方々にも心安く使っていただけたら、会館にしたいたいものと考えております。

フオローウインドは 気まぐれ

高13回 高橋克子(小宮山)

ゴルフとは40mそこそここの球を、遙か先の10cmほどの穴に入れて競う単純にして偶然のゲームです。私のゴルフとなると、昔、勤め先のあった東部町の胡桃畑で一振りしたことからはまったのです。否もつと前、生まれ育った北御牧村の野山がルーツなのかとも思います。「兎追いしかの山、小鮒釣りしかの川」に明け暮れた私の身体の中に、自然に培われたのかもしれない。十四世紀のその昔、スコットランドの羊飼いが、野兎の巣穴に小石を打ち込んだのが、発祥のヒントと聞いて苦笑しつつうなずいたものです。それ故に、哀しいかな動

今年の八月には現在の同窓会館が解体されます。新会館完成は、平成十三年三月末の予定ですが、その間同窓会本部は、あちこちに間借りをしなければなりません。同窓生の皆様には時には御迷惑がかかると思いますが、よろしく願います。新会館完成時にはぜひ東京同窓会の皆様も、なつかしい上田までお出かけいただき新しい会館でお会いしたいと思いつつ、筆をおきます。

物的勘の私のゴルフは、その後大きな壁にぶつかり成就するには至らなかつたのです。さて女性禁制のゲームであった昔、女性ゴルフアーム一号はかのスコットランド女王、メアリ・スチュアートだったそうです。父君のダーンリー



卿が暗殺されたその時も、女官たちとゲームに打ち興じていて「一体その暴漢、何番のアイアンを使ったの？」とは古くから伝わるゴルフジョークとか……。何ともあれ、今日こうして老若男女楽しくプレイ出来るのも、最後には斬首刑に処せられてしまった女王のお陰にちがいありません。私がゴルフ好きな事のひとつに「あるがままの状態でプレイせよ」という掟があります。神が作りし大自然をいじってはならない、巣穴も灌木も茂みも川も虫も砂も退かしてはならない、不可能な場合はペナルティ(罰打)を払い、且つすべからぬ、というものです。何事も少しでも有利に有利にと思つ自分との戦いがあります。それがとてもシビアで好きなのです。そんなこんなで一日の戦いも終わり、静かに18番ホールに日が落ちる頃、時に19番ホールがまっています。丸いグリーンから四角なグリーンへ……

良妻賢母をモットーとする母校の会報に書くのは、誠に後ろめたいのですが、マジジャンのことで。私はこの二つのゲームにとっても惹かれるのです。

フオローウインド(追い風)がいつも吹くとは限らない。アゲンスト(逆風)の時

平成十二年度総会のご案内

期日 平成十二年五月十六日(火)

目的 東京湾一周ランチクルーズ(乗船時間二時間)

集合時間 午前十一時十五分

集合場所 シンフォニー乗り場待合室 日の出埠頭営業所 港区海岸二ノ七ノ一〇四

〇三(三七九八) 八二九五 新橋駅から新都市交通「ゆりかもめ」で二つ目「日の出」駅下車、徒歩一分

会費 金一万円也(年度会費金壹千円を含む) 同封の振込用紙でお振り込み願います

付記 〇 会費の振込を出席通知に代えますので、出欠ハガキは同封いたしません。 〇 総会にご欠席の方は、年度会費のみお送り下さい。 〇 ご出席の方は、五月九日までにお振り込み下さい。

連絡先 電話&FAX 〇四五一九五二一〇二〇 (油井)



編集後記

☆あなたは21世紀の母校に何を期待されますか。

☆今年の東京同窓会は東京湾上で実施いたします。ぜひお出かけください。そして前途洋々たる我が母校、我が同窓会を大いに語り合おうではありませんか。